

事業再評価シート

事業名	中山間地域総合整備事業		
箇所名	七折地区	市町村名	日之影町

実施方法	■補助 □県単		
事業期間	採択年度	再評価年度	完了予定年度
	H24	R3	R4
事業進捗	全体事業費 (百万円)	既投資額 (百万円)	進捗率 (%)
	(837) 1,266	1,187	事業費 93.7 用地 98.5
再評価の概要	対象選定理由		事業効果 (B/C)
	事業採択後 10 年経過		(1.72) 1.34
			対応方針原案
			継続

全体計画
<p>本地区の農業は、水稲は基より、冷涼な気候を活かした高冷地野菜やお茶などを急峻な地形での厳しい条件の中で営んでおり、農家の生産意欲は非常に高い。</p> <p>しかしながら、農業用施設等の生産基盤の整備が立ち遅れており、施設の老朽化も進行している。また、営農飲雑用水の不足などの生活環境基盤の整備も著しく立ち遅れている地区である。</p> <p>このため、これらの農業生産基盤と農業生活環境基盤の整備を総合的に行い、農業経営の安定化や安心して生活できる農村環境の改善を図ることを目的とする。</p>

事業概要
<p>受益面積 28.7ha</p> <p>【①農業生産基盤】</p> <p>農業用水路 3,755.1m 農業用排水路 563.6m 農道整備 1,118.1m</p> <p>【②農村生活環境基盤】</p> <p>農業集落道 474.0m 営農飲雑用水 2箇所 集落防災安全 5箇所</p>

事業目的
<p><対象事業の目的、必要性></p> <p>①農業生産基盤の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 維持管理労力の省力化 農作物の品質向上と生産性の向上 <p>②農業生活環境基盤の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 農業生産・流通の効率性、住民生活の利便性・快適性の向上 安全で安定した水の確保、農畜産物の品質向上 火災発生時の迅速な初期消火への対応 <p><事業を継続する必要性></p> <ul style="list-style-type: none"> 農業用施設の老朽化により、維持管理に多大な労力と経費を要していることから、早急な整備を行い農業経営の安定、維持管理労力の軽減が必要。 農業集落道は道路幅員が狭く、車両や歩行者の安全な通行に支障を来している。また、営農飲雑用水は溪流から取水しているため、大雨時には水が濁り、生活や営農に支障を来しているなど農業生活環境基盤が著しく立ち遅れており、早急な整備が必要。 令和4年度に事業完了する予定であることから、事業の継続が必要。

事業の進捗状況

<現在の事業進捗> (令和3年度末見込み)

- ①農業用用水路 2,390.6m/3,755.1m (63.7%) ④農業集落道 474.0m/474.0m (100.0%)
②農業用排水路 508.0m/563.6m (90.1%) ⑤営農飲雑用水 2箇所/2箇所 (100.0%)
③農道整備 902.0m/1,118.1m (80.7%) ⑥集落防災安全 3箇所/5箇所 (60.0%)

<整備効果の発現状況>

- ・農業用排水路の整備により漏水が解消され、安定した用水供給や維持管理軽減が図られている。
- ・農道の整備により安全な車両通行が可能となり、農作物の荷痛み防止が図られている。
- ・営農飲雑用水施設の整備により安全な飲料水の確保や、安定した水の確保による農作物の品質向上が図られている。

<今後の事業進捗の見込み>

- ・令和4年度に残っている農業用排水路、農道整備及び集落防災安全施設の整備を行う。

<事業が長期化している理由>

- ・当該地域は、事業費の増の理由に加え、急峻な地形に囲まれた現場条件の厳しい工事箇所であり、入札不調・不落が多数発生し、工事開始が遅れたことにより工期が長期化したものである。

社会情勢等の変化

<事業を取り巻く社会情勢の変化>

- ・高齢化及び担い手農家の不足

<受益者の意識>

- ・本地区では、農家戸数減少や高齢化の進行などによる農業生産力の低下が懸念されており、担い手農家への農作業受託を行うとともに、担い手農家の育成を行うこととしている。

事業効果の分析

<費用対効果>

- ・費用対効果は、1.34である。

<事業を継続することの事業効果分析>

- ・残事業の農業用排水路及び農道整備、集落防災安全施設を完了させることにより、農業用水の安定供給や農産物の品質確保及び集落の防災対策の強化を図ることができる。

<様々な事業効果>

- 棚田地域の振興に関する効果
 - ・農道の整備により、来訪者のアクセスが良くなり、地域の活性化に期待できる。
- 多面的機能による効果
 - ・水田の維持管理により、雨水の貯留機能や水源のかん養の発揮、景観形成の増進が図られる。

コスト縮減

- ・再生資材（再生クラッシャーラン、再生アスファルト）の積極的な活用。

代替案の可能性

- ・令和3年度末で93.7%が完了見込み。
- ・R4年度以降は農業用排水路、農道、集落防災安全施設の整備を残すのみとなっている。
- ・農業用排水路については、漏水を解消し安定した水の確保、農道については農作物の荷痛み軽減及び農業用車両の安全な運行、集落防災安全施設については、火災発生時における迅速な初期消火を図るためにも早急に整備が必要であるため、代替案はない。

対応方針

継続